



伊豆東岸定置網 2025年上半期漁海況予報

神奈川県水産技術センターと共同で、2025年上半期（1～6月）の漁海況を予測しました。

黒潮は2017年9月中旬以降、大蛇行流路が継続しており、今期も継続する見通しです。また、沿岸水温は「平年並」～「高め」で推移し、黒潮からの暖水波及が流入した場合は「極めて高め」を含む「高め」と予測しました。

マアジは0歳魚の好調な来遊が継続していることから、前年並と予測しました。マサバは黒潮の影響で伊豆周辺海域への来遊が妨げられること、ゴマサバは資源量が減少傾向にあることから、いずれも前年並～下回ると予測しました。マイワシは伊豆諸島周辺が産卵場になっていることから、冬～春に産卵親魚が来遊すると予測しました。ブリは資源量が増加傾向にあることから、前年並～上回ると予測しました。

表 伊豆東岸定置網における2025年上半期の漁海況

項目・魚種	予測
海況	黒潮：A型基調で推移 沿岸水温：「平年並」～「高め」、黒潮からの暖水波及時には「極めて高め」を含む「高め」
マアジ	魚体：尾叉長20cm前後主体 来遊量：前年並
マサバ	魚体：尾叉長30～35cm以上主体 来遊量：前年並～下回る
ゴマサバ	魚体：尾叉長30～35cm以上主体 来遊量：前年並～下回る
マイワシ	魚体：成魚（産卵親魚）主体 来遊量：好調な平年並
カタクチイワシ	魚体：成魚及び未成魚 来遊量：低調な平年並
ブリ	魚体：銘柄ぶり・わらさ主体 来遊量：前年並～上回る

キンメダイ小型魚を標識放流

伊豆東部地区一本釣協議会は、資源保護のため体長28cm以下の小型魚が多く生息する初島沖、富戸沖の操業を自粛しています。

1月17日、効果を継続的に確認しようと、同協議会が小型魚248尾の標識放流を行いました。

この取組は平成31年4月から始まり、これまでに1,379尾を放流、16尾が再捕され、うち10尾（63%）は伊豆東岸で見つかっています。

キンメダイは寿命が長く、小さなうちは保護し、大きくしてから漁獲する方法が資源保護につながる魚です。当场もこの取組に協力していきたいと思えます。



写真 標識を着けたキンメダイ（令和7年はピンク）

伊豆地域から指導漁業士2名が認定

1月15日、県の指導漁業士、青年漁業士等の認定式が行われ、伊豆地域からは伊豆漁協稲取支所所属の安藤さん、安良里支所所属の藤井さんの2名が指導漁業士として県知事から認定を受けました。

これからも地域の中核的な漁業者となるお二人のご活躍を期待するとともに、当场としても支援をしていきます。



写真 指導漁業士に認定された安藤さん(左)

解説：漁業士とは地域の中核となる漁業者を県が認定する制度です。

先進的経営を行いながら、若手漁業者等の指導育成に積極的に参画している方を認定する「指導漁業士」と、漁業者グループ等に積極的に参画し今後も中心的な活動を見込まれる方を認定する「青年漁業士」があります

2月の予定 ● キンメダイ親魚採捕調査 ● キンメダイ漁業者実践協議会（6日） ● 漁業士会総会（7日） ● 技術連絡協議会（13日） ● 一般研究評価会（21日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。